

書牘卷之三（五 往信）

暑中見舞帖

以_二書狀_一、致_二啓上_一候、甚
暑之節_二候へとも、御全
家無_二御障_一被_レ為_レ入、恐
悦奉_レ存候、依_レ之、御様体
相伺ひ度、手製之橙
汁壺瓶、差進候、尚、折
角消暑之御手_當專一
ト存候、早々不具、

※漢字は全て新字体に直したが、原文が旧字体に近い書体で書かれている場合は、右脇に旧字体を添えた。

※変体仮名は現行の平仮名に直した。なお、字母に当たる漢字を右脇に添えた。

書牘卷之三（五 返信）

御状致_ニ披見_一候、如_レ仰、甚

暑之節二候へとも、弥

御勇健、珍重ニ存候、時

節御見舞として、御

手製之橙汁壺瓶、御

贈り被_レ下忝候、暑気ヲ

凌き候第一之品ニ付、た

くは_者へ置、日々拝味可_レ致

ト存候、右御礼のミ、草々

不具、

※漢字は全て新字体に直したが、原文が旧字体に近い書体で書かれている場合は、右脇に旧字体を添えた。

※変体仮名は現行の平仮名に直した。なお、字母に当たる漢字を右脇に添えた。